

Weekly コラム

令和 6 年 5 月 14 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

質の高いインターンシップを 核としたキャリア形成支援

経団連と国公私立大学の代表者により構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が 2023 年 4 月に公表した 2022 年度報告書では、主体的なキャリア形成の推進などに向けた具体的検討を行っており、とくに 2021 年度報告書において類型化した学生のキャリア形成支援活動の 4 つの区分(【タイプ 1】「オープン・カンパニー」、【タイプ 2】「キャリア教育」、【タイプ 3】「汎用的能力・専門活用型インターンシップ」、【タイプ 4】「高度専門型インターンシップ」)の周知に向けた活動内容について記載しています。

経団連は 2023 年 1 月に、周知活動の一環として経団連会員企業を対象に「質の高いインターンシップに関する意向調査」を実施しました。これによると、産学協議会が新たなインターンシップの定義を定めたことに対する認知状況については、「知っており、内容についても知っている」と回答した企業の割合は 83.2% となっており、新たなインターンシップへの関心の高さが示されています。タイプ 3 に該当する質の高いインターンシッププログラムの実施予定について聞いたところ、「既に実施している」と回答した企業も含め、全体の約 6 割の企業が 2023 年度より実施であると回答しています。さらに、インターンシップ以外のキャリア形成支援活動の実実施予定について聞いたところ、「これまでも実施しており、2023 年度以降も実施する予定」と回答した企業の割合が 70.8% となっており、2023 年度以降に新たに実施を検討する意向の企業と併せると、8 割以上の企業が今後実施する意向となっています。

このように大企業を中心に質の高いインターンシップを核としたキャリア形成支援に対する高いニーズが求められているのです。

では、質の高いインターンシップを核としたキャリア形成支援に向けて今後どのような課題があるのでしょうか。そこで、「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」による 2022 年度の報告書において指摘されている課題についてみていきましょう。

一つ目の課題として、「質の高いインターンシップを核とした学生のキャリア形成支援活動の普及・定着」があげられます。報告書では、引き続き 4 つの類型からなる学生のキャリア形成支援活動の趣旨等について、企業・大学等・学生等への理解促進を図ることが求められるとしています。

二つ目の課題として、「政府における検討結果を踏まえた対応」があげられます。報告書では、政府の「インターンシップを活用した就職・採用活動日程ルールの見直し」などを踏まえ、産学協議会でこれまで検討してきた 4 類型に関する詳細内容と齟齬が生じないよう、リーフレット等につき必要に応じて見直し、企業・大学・学生等にわかりやすい形で、情報発信を継続するとしています。

三つ目の課題として、「就職・採用のあり方」があげられます。報告書では、国際競争力の強化、採用・雇用形態の多様化などといった多様な要素を含め、就職・採用活動のあり方について産学で本質的な意見交換・対話を実施するとしています。また、現行の政府の就職・採用日程ルールは、実態と乖離しているとの指摘もあることから、政府は、学業との両立に配慮することを前提に、就職・採用活動日程ルールについて、見直しに向けた検討が必要であるとしています。

上記のような課題を克服することで、質の高いインターンシップを核としたキャリア形成支援が促進されるのです。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。